

台湾の支援学校生徒と交流しました！！



11月6日（火）台湾の台中市にある国立台中啓聡学校の高校2年・3年生の27人が京都、奈良などへの修学旅行の一環で来校されることとなり、本校高等部の生徒と同世代交流を行いました。

当日は、まず開会セレモニーを行い、校長挨拶や本校生徒代表が歓迎の言葉を述べました。それからは、2つの班に分かれて、宇治支援学校の普段の学習をとおして京都・宇治の文化を伝える交流活動を行いました。

音楽堂では、くらし職業コースの生徒たちが、中国語での自己紹介を行ったり、「世界に一つだけの花」を日本語・中国語で一緒に合唱して交流を深めました。慣れない中国語での自己紹介では、自然とお互いが笑いにつつまれ、楽しい雰囲気会場は一杯になっていました。また、その後「カフェJOY」にて喫茶の接客を実演し、カフェタイムを満喫していただきました。また本校地域文化学習室の茶室では、くらし地域コースの生徒たちが、宇治ならではの「お茶」でおもてなしをしました。日頃から学んできた地域文化や作法をディスプレイを使ったり、実際の動きを見ていただきながら、積極的に伝える生徒の姿に、台湾の生徒たちも真剣に見入っていました。また「お茶」「和菓子」のおもてなしに、とても喜んでいただけたようで、こちらもお互い楽しい雰囲気に包まれていました。

閉会セレモニーでは、くらし健康コースの生徒が地域のサークルのみなさんと和太鼓の演奏を披露し、大きな拍手をいただきました。また台湾の生徒たちも、お礼にとダンスを披露し、会場は大盛り上がりでした。

生徒たちにとっては、はじめての異文化交流体験でしたが、何より生き生きと生徒たち自身が交流を積極的に進めていたことが光った充実の一日となりました。